



日中共演 古琴コンサート

『琴の^{えにし}緑』

令和元年 12月9日 (月曜日)

入場 18:30 19:00 ~ 21:00

会場 サントリーホール ブルーローズ

<https://www.suntory.co.jp/suntoryhall>

琴の音色が緩なす世界
時を越えて今 大切に紡ぐ緑
無上のヒーリング音楽をみなさまへ

世界文化遺産である「古琴」は、古代中国に発祥し、長く豊かな文化を紡いできました。日本でも、平安、江戸から明治にかけて、平安の皇族・貴族から維新志士に至るまで、広く愛されていた楽器です。『宇津保物語』『源氏物語』『枕草子』などの文学、田能村竹田・谷文晁らの絵画にも足跡を残しています。箏とは異なる、深く情感あふれる玄妙な音色が、心にしみ入ります。

主催

一般社団法人
日本古琴振興会
Japan Society for Promotions of Guqin

<http://guqin.jp>



えにし

日中競演 古琴コンサート 『琴の縁』

入 場 料 一般 4,000 円
学生 2,000 円 (小学生以上大学院生まで)
《お一人様・税込》

予定演奏者

日 本



台 湾

中 国



演奏予定曲

『幽 蘭』

東京国立博物館に収められている、国宝『碣石調幽蘭第五』に収められている文字譜「幽蘭」をもとに再建した。この琴譜は、現在、日本でしか確認されていない最古のもの。魏晋南北朝時代・梁の丘公の作品。

『神人暢』

中国の神話に登場する、伝説の皇帝・堯が作ったとされる、最古の曲。「暢」は、(心地よく)伸びやかである、という意味をもつ。神秘的な雰囲気を持ちながら、神と人とが、互いにのびのびとした心で生きている様が表現される。太鼓との共演によって、古の世界を表現する。

『梅花曲』

梅の花は、優美でありながら、風雪にあっても凛として咲き続け、品のある香りを漂わせる。その気骨ある風情、同時に高雅な佇まいは、文人たちの憧れであり、理想の姿をあらわすものだった。

『流 水』

「知音」や「伯牙絶絃」の成語で知られる、琴の名手であった伯牙と、その朋友・鍾子期に関する曲。伯牙が流れる水を思い描いて弾じると、これを聴いた鍾子期は、滔々と流れる水の意を正しく得たという。

『楚 歌』

紀元前 202 年、劉邦率いる漢軍と、項羽率いる楚軍が天下を争った楚漢戦争は、「垓下の戦い」において決した。前夜、項羽は、自軍を取囲む敵陣営から、楚の歌が流れてくるのを聴き、寝返った楚人の多いことを嘆いたという。日本語と中国語の詩吟による「垓下の歌」、さらに尺八との共演によって、悲壮な物語を紡ぐ。

『もののけ姫』作曲 久石譲 編曲 武井欲生

スタジオジブリの映画『もののけ姫』のテーマ曲を、武井欲生が古琴のためにアレンジしました。本邦初公開！

他
但し、当日変更される場合がございます。

チケット等
お問い合わせ 〒141-0032
東京都品川区大崎 4-2-2
トーカンマンション五反田 205

一般社団法人 **日本古琴振興会**

E-Mail info@guqin.jp
Telephone 03-6417-3434
Facsimile 03-6417-3430